

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

Summer 2023

JUL.-SEP.

124

特集 特別企画展
「草野心平と中原中也」

重なり合う
二人の詩人



特集

03 重なり合う
二人の詩人

特別企画展

「草野心平と中原中也」

08 any通信

- ◎アーティストボイス バクダパン・フード・スタディ・グループ (アーティスト集団)
- ◎お先に試写しました 「青春神話」 (監督:ツイ・ミンリャン)
- ◎読書の窓 大崎 梢『本パスめぐりん。』
- ◎映画と 『EO イーオー』パンフレット
- ◎any music 落差草原 WWWW 「新中心」

ピックアップイベント

10 山口情報芸術センター
Yamaguchi Seasonal 2023

大友良英+青山泰知+伊藤隆之「without records」
YCAMの代表作が15年ぶりに山口に帰ってくる

「浪のしたにも都のさぶらふぞ」展開連 台湾文化特集「台Y祭」
音楽ライブ「美麗島 Underground」
音楽を通して知る台湾文化

中原中也記念館

特別企画展「草野心平と中原中也」関連イベント
朗読&トーク「心中、詩スルモノアリ
——いき・かえる・うた」
心平と中也の言葉を「声」と「からだ」で味わう

山口市民会館

ジブリの思い出がいっぱい
オーケストラによるドリームコンサート 2023
ジブリの名曲をオーケストラとともに

反田恭平 produce

ジャパン・ナショナル・オーケストラ 2023 夏ツアー
新進気鋭のオーケストラ来る!

13 夏休みお楽しみシアター

14 イベントカレンダー 7~9月
INFORMATION

二人の詩人 重なり合う

SHIMPEI CHUUYA

「草野心平と中原中也」

特集 特別企画展

草野心平 KUSANO Shimpei

1903年(明治36年)、福島県生まれ。詩人。中国の嶺南大学に留学し、詩作を始める。28年(昭和3年)、第一詩集『第百階級』を出版。35年(昭和10年)、中也らと同人雑誌『歷程』を創刊。貧困の中、新聞記者、焼鳥屋などで生活の糧を得ながら、詩や書画など多彩な創作活動を続ける。85年間の生涯で1,400篇余の詩を残す。

草野心平(1977年)
photo:小林正昭

今年、生誕120周年を迎える、詩人・草野心平。中原中也と心平は3年という短い交友期間ながら、お互いの詩を高く評価し合う、良き理解者でもありました。この夏、いわき市立草野心平記念文学館の全面協力のもと、中原中也記念館にて特別企画展「草野心平と中原中也」を開催。同時代の詩人との交流は少なかったという中也ですが、そんな中でも同じ詩人として厚い信頼を寄せていた草野心平とはどんな人物だったのか? 企画担当の原明子さんへのインタビューを通して、知れば知るほどに魅力深まる草野心平の全貌へと迫ります。



草野心平原稿「生殖」

草野心平原稿「青大将に突撃する頭の中の喚声」



草野心平原稿「ぐりまの死」

草野心平原稿「號外」

従来の詩の枠には収まらない斬新な表現

まずは特別企画展でとりあげる詩人・草野心平について教えてください。

草野心平は、明治36年に福島県石城郡上小川村(現・いわき市小川町)で生まれ、家庭の事情により、祖父母に育てられました。中原中也より4歳年上です。13歳の時に母、兄、姉を相次いで結核で亡くしています。中学時代はまだ詩は作っておらず、美術部に所属したりスポーツをするなど活発な少年時代を送っていました。大正8年に磐城中学校を中退した心平は、翌年に上京し慶應義塾普通部に編入します。しかし、家族との軋轢もあって日本を飛び出して、唯一の日本人として中国の嶺南大学で学びます。留学先に持参していた、結核で亡くなった兄・民平の遺品のノートに綴ってあった詩や短歌に刺激を受けた心平は、ここで詩作に目覚めます。同級生から「機関銃」と呼ばれるほど、たくさんの詩を書いていたそうです。

嶺南大学在学中の大正12年に、亡き兄・民平の遺稿と自作の詩を合わせた合同詩集『廢園の喇叭』を刊行、大正14年には宮沢賢治も同人として参加していた同

人雑誌『銅鑼』を創刊します。どちらもガリ版印刷によって手作りされました。昭和3年、全篇通して「蛙」が題材となっている詩集『第百階級』を発行します。この詩集が実質的には心平にとっての第一詩集と言われ、初めての活版印刷での出版でした。詩の言葉も独特で、蛙が冬眠している様子を黒丸一つで表した「冬眠」、「るるるるる……」と「る」一行だけ書かれた「生殖」、蛙の鳴き声のオノマトペ



草野心平著『第百階級』

活動の幅も 人間関係の幅も広い バイタリテイの塊のような人



同人雑誌『銅鑼』 創刊号～第16号 [中原中也記念館蔵]

(擬音語・擬態語) だけで構成された詩など、従来の詩の枠には収まらない斬新な表現がたくさん出てきます。戦時中は、中国に留学していた経験から、中国政府の宣伝部顧問として中国に渡り、そのまま終戦を迎えます。命からがら帰国し、戦後は貸本屋、居酒屋、バーを経営するなど色々な仕事を転々としながら詩を書き、一方では文学賞の選考委員、高村光太郎や宮沢賢治など様々な詩人の顕彰活動を行ったり、研究書を出版したりして、活動の幅も人間関係の幅も広いです。まさにバイタリテイの塊のような人。詩も、「蛙」以外に「富士山」や「天」、「宇宙」など様々なモチーフで壮大なスケールの詩をたくさん残しています。85歳で亡くなるまでに発行した詩集はなんと40冊以上、1,400篇を超える詩を世に送り出しました。



企画を担当する原 明子さん photo: 谷 康弘

心平と中也を繋いだ朗読

中也とはどのようにして出会ったのでしょうか？

昭和9年、同人雑誌『歷程』の発行前に開催された朗読会で心平と中也は出会います。その朗読会で、中也が「サーカス」を朗読するのを耳にした心平は、「それは中原調とでも言うべきものであって斬鬼新鮮であった。そのような朗読を私は聞いたことがなかった。ハスキーな低音で、しかも胸に沁みこむようなさびしさとキリモミのような痛烈さがあった」という感想を残しています。心平はすっかり中也の朗読と人柄に魅了され、その後、交流が始まります。同年、中也が第一詩集『山羊の歌』を発行するにあたって高村光太郎に装幀を依頼するのですが、その仲介をしたのが心平でした。

昭和10年に、心平たちが発行した同人誌『歷程』の同人になった中也ですが、日記には「夜、イヤイヤ乍ら『歷程』の会に行く」とあまり乗り気でない様子が垣間見えたり、「歷程へ感想の原稿を追送。草野より電話にて、原稿足らぬ由、大急ぎの原稿」と急な原稿を頼まれた様子も見えます。『歷程』は途中で何度も中断するのですが、そのたびに復刊するので、創

刊号が3回も出ています(笑)。そういった事情で心平も必死で原稿を頼んでいるのですが、さすがの中也もまいていたようですね。それでも、中也は律儀に毎号寄稿していますし、打ち合わせにも参加しています。

このあたりは心平のバイタリテイに引き込まれたのが大きいでしょうね。もちろんそれもあるでしょうが、やはり詩人として心平を信頼していたのが大きいと思います。当心中也はようやく第一詩集『山羊の歌』を出したばかりの新進の詩人。一部の文学仲間の間で知られていた程度でした。その中也を心平は『歷程』の同人に勧誘しただけではなく、朗読会やラジオなどで中也の詩を朗読するなど、中也の紹介につとめました。



同人雑誌『歷程』創刊号(通巻第1号) [中原中也記念館蔵]

「観覧聴み 聞いた ユなた! の!」

- ◎「それ、いいね! やってみよう!」という雰囲気よかったです! (「第7回未来の山口の運動会」より)
- ◎アレグロと、元気な曲が好きでした。(「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2023」より)
- ◎他国の戦争が世界の食料に影響を与えることを改めて思い知らされた。(「The Flavour of Power」展より)
- ◎トッケピが見える大人になりたい。(「トッケピー鬼ヶ島と呼ばれた島」より)

「観覧聴み 聞いた ユなた! の!」

- ◎印刷にこだわりすぎてお金が尽きたのは何だか中からしくてもしろかったです。(テーマ展示「詩集『山羊の歌』」より)
- ◎おばあちゃんの優しいキャラが好きになりました。(「トッケピー鬼ヶ島と呼ばれた島」より)
- ◎遊びを作るのが一番楽しい遊び!! (「第7回未来の山口の運動会」より)
- ◎小遊三さん、たい平さん、さすが日本の落語会の代表の方ですね。笑いの絶えない時間でした。(「特撰落語名人会 三遊亭小遊三・林家たい平二人会」より)



草野心平(帝都日日新聞社時代)



草野心平著『母岩』

二人は相通じるところがあったのでしょうか？『歷程』の朗読会のエピソードにもあったように、心平も中也も詩を書くだけではなく、表現の一つとして朗読を重視していましたし、当時は無名だった宮沢賢治の詩を高く評価しています。また、心平が詩集『母岩』を発行した際の書評で「草野君の感覚を僕は好きだ。そのピントは実に正確だ。つまり彼は詩人として第一に大事な点に於ては決してころがりつこないのだ」と心平を絶賛しています。中也がこれだけ褒めている詩人は珍しい。中也は詩人との親交はあまりなく、深い交友関係にあった文学者は文芸評論家や小説家が中心でした。同時代の詩人で、中也の本質を見抜き、最も理解していたのが心平だと思います。2人の交流は、昭和9年から中也が亡くなる昭和12年までの約3年間でしたが、詩人としていかにお互いの感覚を信頼し、理解し合い、評価していたかがよく分かります。

中也の本質を見抜き 最も理解していた心平

作品そのものに共通点はありましたか？一概には言えませんが、実際に心平と中也の詩を比較すると、かなり違った印象を受けますね。たとえば、心平は「蛙の詩人」といわれるほどたくさん蛙の詩を書いています。心平の蛙は人間のように感情をもち、その内面が詳しく描かれているものもあります。人間の視点から蛙の姿を見るのではなく、むしろ蛙の視点に立って人間を見つめているのかもしれない。まるで心平自身が蛙になりきっているような感覚です。一方、中也の詩の蛙は心平のように蛙そのものに焦点が当てられるのではなく、何かを象徴するものとして登場してきます。あくまで人間の私が音としての蛙の鳴き声を聴いて、ものを思うといった詩が多いように思われます。人間としての「私」という意識を無にして「蛙」になりきる心平に対して、あくまで「私」という認識は揺るがない中也。共通する感性をもちながら言葉の表現の仕方が違う。だからこそお互いに補い合い、刺激し合い、分かり合えるところがあったのだと思います。



中也という詩人の持つ 生身の言葉と 全身で向き合ってきた

今回の特別展では二人の関係性が垣間見えるような資料も見ることができますか？中也が亡くなった際、心平が中也を追悼して書いた詩「空間」の、心平直筆の書を展示します。短い言葉の中から中也を喪った深い悲しみが感じられ、心平にとって中也という存在がいかにか大きかったかをうかがうことができます。また、心平は雑誌『文学界』の追悼文で「中原中也が死んだことは割り引いて掌にのせて考えてもどう考えても腹立たしい。(略) この世のどこにももういないと思うと、あのやるせないうつろな声もこれから先きはきけないことにきまったのだと思うと、むしろに腹がたってしまう」という文章を寄せています。心平は、「彼の人間と彼の詩と彼のよみ方とはどうしても切り放すことが出来ない。そのようなところから彼の詩は生れた」とも言っています。人間同士としてつきあい、また文字だけではなく、朗読などを通して中也という詩人の持つ生身の言葉と全身で向き合っ



中原中也 18歳

きた心平の心情がひしひしと浮かび上がってきます。その姿を追いかけるように、心平は折に触れて、エッセイなどで中也のことを回想しています。たくさん残っている資料から二人の親密な関係をしっかりお見せできたらと思っています。

心平がいかに型破り だったかを感じてほしい

他にはどのような資料を見ることができるのでしょうか？心平の第一詩集『第百階級』の原稿が残っているので、いわき市立草野心平記念文学館からお借りして展示します。今までの詩の概念を壊すような、心平の感性を感じることができる大変おもしろい原稿です。心平がいかに型破りだったのか、多くの方に感じてもらえれば。

草野心平による書「空間」
中也の追悼詩として『歷程』通巻第6号に発表され、詩集『絶景』に収録された作品。後年、改めて書として清書されたものだと考えられる。中也不在に対する心平の心境が筆ではききとにじみからも感じ取ることができよう。

CHUYA

心平はたくさんの絵や書も書いています。絵や書がどのように詩と接近していくのかも感じていただきたいです。また、遺品の地球儀や直筆の表札、ペン入れ等も展示します。心平の肉声で読まれた朗読も多く残っているので、それも展示の中で聴いていただき、耳からも楽しんでいただけたらと思っています。これ以外にも、詩における死生観や天と空についてお互いが持つイメージを比較したいと思っています。

関連イベントも予定されているそうですね。はい。8月19日に山口市在住の詩人・桑原たけや、滝弥氏をお迎えして、朗読とトークのイベントを開催します(本誌p.11参照)。資料展示だけでは表現できない心平と中也の詩の世界観を、生身の肉体と声を通して感じていただきたいです。9月10日には蛙に詳しい田原義寛氏を講師として、実際の蛙を見ていくことで、心平の詩を読み解いてみようというセミナーを中原中也の会主催で行います。心平が生きていた時代と比較すると、蛙の種類が激減していて、色んな種類の蛙の鳴き声も聞けなくなっているそうです。そんな中で詩はどのようなか考えてみたいと思います。

特別企画展 「草野心平と中原中也」

2023年7月27日(木)～10月1日(日)
会場：中原中也記念館

[入館料] ()内は20人以上の団体料金
一般 330円(275円) / 大学生 220円(165円)
70歳以上・18歳以下無料



PRESENT

特別企画展「草野心平と中原中也」のパンフレットおよび詩集をプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は、下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、7月31日(月)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

- A 特別企画展「草野心平と中原中也」パンフレット(3名)
- B 草野心平著『草野心平詩集』[ハルキ文庫](1名)



【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.124 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@yfcfcp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

わかる！ キーワード

【蛙の詩人】草野心平は、生涯を通して「蛙」をテーマに詩作をしたため、「蛙の詩人」と呼ばれるようになる。「蛙」がモチーフの詩だけを集めた心平の詩集『第百階級』を発表した昭和初期は、労働者の階級意識が高まっていた時代である。ただ単に蛙が好きだったのではなく、心平にとって「蛙」は、弱者的立場にある労働者の象徴でもあった。

観 聴 聞 の ！

- ◎さすの演奏のため息が出ました。アンサンブルってこういうことなんですね。(「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2023」より)
- ◎自国の主食である米について戦争に関わる社会問題とのつながりも考えたことがなかった。(「The Flavour of Power」展より)
- ◎震災がなければ長谷川泰子氏との出会いはなかったのですね…。(企画展「中原中也と関東大震災」より)
- ◎次回も来てください。笑うと長生きできるのでよろしく。(「特撰落語名人会 三遊亭小遊三・林家たい平二人会」より)

any通信

アーティストから聞いたこぼれ話、映画や本の情報など、旬のお便りを詰め込んで、あなたのもとへお届けします。



夏のお待ちかね！
星空上映会にみんな集合♪



昨年の開催の様子 photo: 谷 康弘

毎年、多くの方にお越しいただいている星空上映会。みなさんの「いつも楽しみにしています！」の声にお応えして、今年は4日間に拡大して開催します。みんなが楽しめるエンターテインメント作品はもちろん、見ごたえ抜群の演劇の映像化作品まで、選りすぐりのラインナップでご来場をお待ちしています。星空の下で特別なひとときをお過ごしください。



『SING/シング:ネクストステージ』
©2020 Universal Studios. All Rights Reserved.

真夏の夜の星空上映会 2023

2023年8月10日(木)～13日(日)

会場: 中央公園(山口情報芸術センター前)

[上映作品] 12・13日は日本語吹き替え版

10日(木) 「こちらあみ子」

11日(金・祝) 維新派「アマハラ」

12日(土) 『SING/シング:ネクストステージ』

13日(日) 「ジュラシック・ワールド/新たな支配者」

[料金] 無料 ※12歳以下は要保護者同伴

デジタル画像で見る 中原中也の自筆資料

「朝の歌」「冬の長門峡」他の原稿や創作

ノート、日記、書簡など、中原中也記念館に収蔵されている中也の自筆資料502点のデジタル画像をインターネット上で見るできるようになりました。画像を公開しているのは国文学研究資料館の「近代書誌・近代画像データベース」で、中原中也記念館公式ウェブサイトの収蔵資料データベースからリンクを通じて同じ画像がご覧いただけます。QRコードからアクセスして、中也の生き生きとした筆跡をたどってみてください。



国文学研究資料館「近代書誌・近代画像データベース」
<https://base1.nijl.ac.jp/~kindai/>

中原中也記念館
「収蔵資料データベース」
<https://jmapps.ne.jp/chuyakan/>



ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

バクダパン・フード・スタディ・グループ (アーティスト集団)

YCAMで3～6月にかけて行われた展覧会「The Flavour of Power」では、インドネシアを拠点に活動するアーティスト集団、バクダパン・フード・スタディ・グループが「食」にまつわる調査を行い、その成果を、映像インスタレーションやカードゲーム、資料展示として発表しました。さて、山口の地をバクダパンのみなさんはどのように楽しんだのでしょうか？

山口での最後の時間は 温泉に浸かって過ごしました。

YCAMを初めて訪れたとき、山のような形をしたユニークな建築物に驚いたことが印象に残っています。リサーチや制作の過程ではYCAMスタッフのプロフェッショナルな仕事ぶり、いつも助けられました。おかげで、日本の文脈を作品に組み込むことが、とてもスムーズに違和感なく行えました。また、YCAMにはアーティストの作品制作をサポートする環境が充実していることにも驚かされました。山口は小さな町ですが素敵な場所。英語を話せなくても、地元の人たちはいつもフレンドリーに話

しかけてくれたり「コンニチハ」とあいさつを返してくれます。商店街の端にお気に入りのお店があり私たちは「オバちゃんショップ」と名付けよく通いました。そのお店では、ユニークな中古品が売られていて、宝物を見つけたような気分、自分用やお土産を探しました。そこでお茶を飲んで過ごすのも好きでした。また、寿司、ラーメン、焼肉、日本酒など、超オイシイものを堪能。山口での最後の時間は温泉に浸かって過ごしました。素晴らしい旅でした。



photo: Dannyswara Gobi

バクダパン・フード・スタディ・グループ Bakudapan Food Study Group

8名の女性で構成される、食について語り合うアーティスト集団。バクダパンという名前は、マド語(インドネシア北スマタララ州の地方語のひとつ)で「食」という意味の「バクダパン」と、ぶらぶらするときに出来るおやつのようなものを指す「クダパン」からヒントを得た造語。展覧会やパフォーマンスから、ガーデニングや料理まで多岐にわたる「食」に関するプロジェクトを展開している。



©Illi-gotten Party Assets Settlement Committee

お先に
試写し
ました

「青春神話」

(1992年/台湾/106分/カラー)
[監督] ツァイ・ミンリャン

お先に試写しました、と言いつつ、ご紹介するのは1995年に日本公開された台湾映画です。7月19日より始まる「台Y祭」関連上映の20本中の1本となります。台湾第2次ニューウェーブと呼ばれたツァイ・ミンリャン監督は、「愛情萬歳」「河」と続けて作品を発表し、それが高い評価を受け、今や巨匠と呼ばれています。

舞台はバブルに浮かれる首都・台北。鬱屈した青春を持って余す若者たちをリアルに描きます。台湾の湿度の高い空気をまとい、ぬるくて甘いスイカを食べている感覚を一気に味わいました。不安で不完全で刹那的、だけど希望は失いたくない…。久々に見直したこの巨

匠のデビュー作は、色褪せない“憧れ”の青春でした。その他、特集上映では劇場初公開、上映権利が制限されている作品の貴重な上映もあります。現在、台湾では80～90年代作品の上映権利が国外に持ち出されにくくなっていると聞きます。映画を通じて台湾の歴史と日台関係をじっくり読み解くこの機会をお観逃しなく。

前原美織 (YCAMシネマスタッフ)

2023年7月19日(水)～8月6日(日)

※上映開始時間等はお問い合わせください。

会場: 山口情報芸術センター スタジオC

[料金] 一般 1,300円

any会員・25歳以下・特別割引 1,000円

【あらすじ】台北の予備校生シャオカンは将来の目標を定められず、親に黙って予備校を中退してしまう。一方不良のアザーは、親友アピンと公衆電話や自販機から硬貨を盗んだり、兄の彼女でもある美少女アキと遊んだり、無軌道に青春を謳歌していた。経済成長でバブルに浮かれる台北の街で生きる若者を中心に、彼らの背後にある漠然とした不安感や孤独感、親の世代との例えようもない確執を見事に描いた、ツァイ・ミンリャン監督デビュー作。

の読窓書

『本バスめぐりん。』

大崎 梢 著
2016年/東京創元社



都会を走る移動図書館「本バスめぐりん」。乗り込むのは60代後半の新人運転手テルさんと20代後半の図書館司書のウメちゃん。返却本に挟まれた忘れ物や秘密を抱えた常連の利用者たち…。巡回先でふたりを待ち受けるのはいくつもの不思議な謎! 慣れない仕事に戸惑いながらも日々成長していく元SEのテルさん、元気でしっかり者体育会系のウメちゃん、年の差40凸凹コンビの心温まるお話です。日常生活のちょっとしたことが題材で感情移入しやすい明るいミステリー作品になっています。山口市立中央図書館では移動図書館「ぶっくん」が市内各地のサービスステーションを巡回しています。「移動図書館」が気になったら、ちょっとしたぞいてみませんか? 不思議な謎はありませんが…。

國森淳子(山口市立中央図書館 職員)

映画

と



『EO イーオー』 パンフレット

(2022年/イタリア/監督: イェジー・スコリモフスキ)

“EO(イーオー)”という名前のロバが主人公の物語が、ワイカムシネマで上映されます(8月予定)。動物と自然への愛についてメッセージを込めたと語るイェジー・スコリモフスキ監督の最新映画。サーカス団の心優しい女性カサンドラのもとで幸せに暮らしていたEOは、サーカス団から離れることを余儀なくされ、ポーランドからイタリアへと放浪の旅に出ることに。善悪様々な人々との出会いの中で、EOが見る世界とは…。今後、ロバと社会を見る目が変わる!? そんな作品です。さらに、このロバ愛溢れるパンフレットを読めば、あなたもロバの虜に!!

any music



アルバム『盤/Pán』収録

アーティスト
落差草原 WWWW

「新中心」

キャンプで星空を見上げながら 聴きたい曲

落差草原 WWWWは台湾の5人組エクスペリメンタルバンド(WWWWは音の波形を象徴しており発音はしない)。大自然や土地の物語からインスピレーションを得て詩や民謡、ファンタジーなどの要素を組み合わせた音楽を制作する。台湾では珍しい実験的なフォークバンド。時にサイケデリックであり、時に民謡などに変容する音楽は、心を踊らせた落ち着かせてくれる。夜空に浮かぶ星を眺めていると、そのスケールの大きさに触れ、宇宙の広大さや時の流れなどを考えがちになるけれど、そんなチルしたい時に聴いておきたい音楽。

中上淳二 (YCAM音響スタッフ)

「み聴観
ピンいた
ユなた!
の!」

◎学校みんなでスポーツを作って遊んでみたい! (「第7回未来の山口の運動会」より)
◎川と彼岸と此岸とのつながりについて知らなかったので興味深かった。(企画展「中也、この一篇——一つのメルヘン」より)
◎空気に溶け込んでいくような優しい音色だが、一言一言しっかりと響いてくる。(「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート 2023」より)
◎初めて聞く神田京子さんの講談もおもしろく惹き込まれました。(「特撰落語名人会 三遊亭小遊三・林家たい平二人会」より)

「み聴観
ピンいた
ユなた!
の!」

◎ことばがつうじなくても仲良くなれるって最高ですね! (「トッケピー鬼ヶ島と呼ばれた鳥一」より)
◎年を重ねるごとに同じ物を見ても感じ方が変わるんだと思います。(テーマ展示「詩集『山羊の歌』」より)
◎シンプルなルールでどこまで熱中させることができるかというのが大事な気がしました。(「第7回未来の山口の運動会」より)
◎5年ぶり、演奏者の喜びが伝わりました。(「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート 2023」より)

山口情報芸術センター [YCAM]

https://www.ycam.jp/

Yamaguchi Seasonal 2023

大友良英+青山泰知+伊藤隆之 「without records」

2023年7月23日(日)～11月5日(日) 10:00～18:00

会場: サテライトA (山口市駅通り1-5-25)



photo: 丸尾隆一

YCAMの代表作が 15年ぶりに山口に帰ってくる

多数のポータブルレコードプレイヤーからなるサウンドインスタレーション作品「without records」。2008年にYCAMで発表されて以降、国内外での展示を重ねてきたYCAMの代表作が、15年ぶりに山口に出現します。本作で用いるのはレコード全盛期に愛用されていたレコードプレイヤーたち。本来レコードをセットするターンテーブルに、段ボールや金属などの異素材をセットし、独特のリズムやノイズなどの静かなローファイサウンドを発生させるように改造。それらを展示空間に設置し、その間を自由に行き来しながら作品を鑑賞・聴取します。多数のレコードプレイヤーそのものから発せられる

個性豊かな音たちが、空間に響き渡ってどのような共鳴を起こすのかぜひご体験ください。

わたしはココに注目する!
「without records 商店街バージョン」を1週間限定で開催! 山口駅付近のお店に作品がお出掛けします。ぜひ山口の風景と作品の響き合いから生まれる音に耳を澄ませてください。

日時: 2023年7月23日(日)～30日(日)
※展示時間は店舗により異なります。
会場: 山口市中心市街地の店舗

料金 | 無料

mini PICK UP!

YCAM爆音映画祭 2023

2023年9月15日(金)～

18日(月・祝)

会場: 山口情報芸術センター
スタジオA



photo: 谷康弘

YCAMでは、2013年以来毎年実施し、多くのファンを生み出してきた「爆音映画祭」。その音に惚れ込んで全作品をご覧になるお客様も。YCAM開館20周年となる今回は4日間の開催! 生演奏付きの無声映画ライブが開幕を彩ります。天井や座席の下にまで特設スピーカーを配置し、精密に調整された唯一無二の“音”があなたを包み込むことでしょう。

[チケット情報] 7月29日(土)～

[料金] 全席指定

前売(1回券) 一般 1,300円 ほか

※割引料金、3回券等、詳しくはwebサイトをご覧ください。

mini PICK UP!

Audio Base Camp #2 2023年9月22日(金)～24日(日)

会場: 山口情報芸術センター
スタジオA



photo: 谷康弘

国内でも最高レベルの音響環境と言われるYCAMのスタジオAで、レコードやCDなどの録音物を聴取するイベントを昨年に続き開催します。ライブ・コンサート用の大規模かつ高品質なスピーカーを用いて、フィールドレコーディングや実験音楽などのテーマに沿って選定された楽曲を再生。一般的な聴取環境では捉えづらい楽曲における繊細な構造や、音楽家が考える音の核心にじっくりと迫っていきます。

[チケット情報] 7月1日(土)～

[料金] 全席自由

前売(1回券) 一般 1,300円 ほか

※割引料金、DJプログラムチケット、フリーパス券等、詳しくはwebサイトをご覧ください。

「浪のしたにも都のさぶらふぞ」展関連 台湾文化特集「台Y祭」

音楽ライブ「美麗島 Underground」

2023年8月5日(土) 18:00開演

会場: スタジオB



落差草原WWWWW



Mong Tong



百合花 photo: Etang Chen

音楽を通して知る台湾文化

YCAMでは現在、砂糖を通して日本と台湾の歴史的關係や、東アジアの近代化の記憶を辿る展覧会「浪のしたにも都のさぶらふぞ」を開催中です(9月3日まで)。その関連イベントとして、台湾文化センターとの連携で、台湾のインディーズシーンを賑わす3組による来日公演を行います。出演者の落差草原WWWWW、Mong Tong、百合花は、それぞれに台湾的風物、民俗を取り込んだロックサウンドを基調とした音楽を創作し、台湾の若者を熱狂させています。まさに台湾の文

化的多様性を体現するといえる3組によるライブがYCAMで実現! 台湾の多様な文化やその歴史を知ること、作品への理解を深めるきっかけとなるでしょう。

わたしはココに注目する!
「浪のしたにも都のさぶらふぞ」展では、ライブ以外にも関連イベントを多数開催。台湾映画の特集上映や、様々なゲストを迎えたトークイベントなど色んな角度から展示作品や台湾文化を味わうことのできる企画がラインナップされています!

チケット情報 | 発売中

料金 | オールスタンディング 前売 一般 2,000円 / any会員・特別割引 1,700円 / 25歳以下 1,000円
当日 一律 2,500円 ※any会員は1会員2枚まで

- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員4枚まで。
- 特別割引: シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。
- 特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- 特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

中原中也記念館

https://www.chuyakan.jp/

特別企画展「草野心平と中原中也」関連イベント

朗読&トーク「心中、詩スルモノアリ ——いき・かえる・うた」

2023年8月19日(土) 14:00～

会場: クリエイティブ・スペース赤れんが 1階ホール



桑原滝弥(詩人)

心平と中也の言葉を 「声」と「からだ」で味わう

特別企画展「草野心平と中原中也」の関連イベントの一つとして、詩の朗読を重視した中也と心平にちなみ、朗読&トークを開催いたします。出演は、山口市在住の詩人・桑原滝弥。詩誌、舞台、映像等、様々な媒体で詩を発信し続け、詩人・谷川俊太郎との競演企画「俊読」や、「tamatogi」「蓬莱座オープンマイク」といった朗読イベントもプロデュースしてきた桑原が、心平と中也の詩をテーマに渾身の朗読パフォー

マンスを披露します。後半は、中原中也記念館の館長・中原豊と本展を担当した学芸担当職員の原明子と交え、アフタートークを行います。心平と中也の詩、その言葉と声の力を、ぜひ全身で感じてください。

わたしはココに注目する!
東日本大震災をきっかけに、心平の生まれた福島県いわき市に何度も足を運び、詩のイベントを開催してきたという桑原さん。その思いを胸に、中也の故郷・山口で、今を生きる詩人が心平と中也にどう立ち向かうのか。乞うご期待!

料金 | 無料 [定員] 40名(要申込/先着順) [出演] 桑原滝弥(詩人) ※申込方法等の詳細はお問い合わせください。

検定 中也



「四季(第2次)」第6号(1935年3月)表紙

Q 詩人の草野心平は、「四季(第2次)」第6号に寄せた「[山羊の歌]とその著者」という文章のなかで、中原中也の作品についてくその書かれていることが例えばば皮肉や自嘲や絶望や灰色や無色であっても、そのどれの底にも〇〇が〇〇〇〇いるのだと評しています。〇に入る言葉は次のうちどれでしょう。

- 1 老年/居座って
- 2 少年/脈打って
- 3 青年/微笑んで

答えは14ページ

中也を味わう

いちぢくの葉

夏の午前よ、いちぢくの葉よ、
葉は、乾いてゐる、ねむげな色をして
風が吹くと揺れてゐる、
よはい枝をもつてゐる……

僕は睡らうか……

電線は空を走る

その電線からのやうに遠く蟬は鳴いてゐる

葉は乾いてゐる、

風が吹いてくると揺れてゐる、

葉は葉で揺れ、枝としても揺れてゐる

僕は睡らうか……

空はしづかに音く、

陽は雲の中に這入つてゐる、

電線は打つづいてゐる

蟬の声は遠くでしてゐる
懐しきものみな去ると。

(一九三三・一〇・八)

【解説コメント】

「いちぢくの葉」は、1933年10月8日に制作され、中原中也の没後「創元」第一輯(1946年12月)に発表された作品です。12行目の「音く」は、誤植の可能性がありますが、そのままにしています。ちなみに、中葉には「いちぢくの葉が夕空にくるぐると」という一行から始まる同題の詩があります。詩句の繰り返しや、語尾が「てゐる」で続くことにより、詩にリズムがもたらされています。そのゆたたりとした反復のリズムにより、眠たい(僕)の感じているゆるやかな時間がうたわれていきます。そして最後の「懐しきものみな去ると」という一行により、そのゆるやかな時間の裏側には、(僕)の喪失感が潜んでいることに気づかされます。

観覧 の よ う に な ら な い よ う に な ら な い

- ◎1つの作品に対して様々な視点から学びを得られました。(企画展「中也、この一篇——一つのメルヘン」より)
- ◎たい平さんに「笑点」以上の迫力を感じました。(「特撰落語名人会 三遊亭小遊三・林家たい平二人会」より)
- ◎非常に難解だと感じましたが、心のざわつきを感じました。(「The Flavour of Power」展より)
- ◎人形と人間の2つのいいところがあわさった、愛しさを感じました。(「トッケピー鬼ヶ島と呼ばれた島」より)

先行チケット
発売情報
早チケ
any会員
先行予約
9月30日

DYNAMIC賢者の音Ⅱ
亀井聖矢
ピアノ・リサイタル
2023年12月17日(日)
14:00開演(13:15開場)
会場:山口市民会館 大ホール



当財団オリジナルのコンサート・シリーズ第2弾。ゲストに、2022年若手演奏家の登竜門であるロン=ティボー

国際コンクールで優勝し、「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞したピアニスト・亀井聖矢が登場! 現在進行中の凱旋リサイタルツアーは、各地で旋風を巻き起こしています。今最も注目を集める21歳の俊英による、圧巻のステージをお聴き逃しなく!!

[チケット情報]
any会員先行 9月30日(土)~
一般発売 10月7日(土)~
[料金]全席指定 ※5歳以上入場可
前売 一般 3,500円
学生 1,500円 ほか

先行チケット
発売情報
早チケ
any会員
先行予約
9月3日

ウクライナ国立フィル
ハーモニー交響楽団
2023年12月29日(金)
14:00開演(13:00開場)
会場:山口市民会館 大ホール



バレエ音楽「ロメオとジュリエット」などで知られるプロコフィエフをはじめ、有名音楽家を多数輩出してきたウクライナから、世界屈指のオーケストラが山口に。目玉は、中学生を含む市民有志で結成された合唱団と共演する“第九”です。「私たちの武器は音楽」と決意を込めて奏でる音色で、2023年を力強く、明るく締めくくってくれることでしょう。

[チケット情報]
any会員先行 9月3日(日)~
一般発売 9月17日(日)~
[料金]全席指定
S席 一般 7,000円
学生 3,500円 ほか

P I C K U P E V E N T ! S U M M E R 2 0 2 3
ピックアップイベント

山口市民会館

http://www.yamaguchi-civichall.com/

元気やまぐち創造プロジェクト

ジブリの思い出がいっぱい オーケストラによるドリームコンサート2023

2023年7月14日(金) 18:30開演(17:45開場)
会場:大ホール



ジブリの名曲をオーケストラとともに

「となりのトトロ」「魔法の宅急便」「風の谷のナウシカ」
…あなたの思い出のジブリ作品は何でしょう?

ジブリの名曲たちを透き通る歌声と生のオーケストラで堪能できる夢のステージが山口市民会館にやってきます! お届けするのは5人組ヴォーカルグループ、ザブリーズアドベンチャーズ(通称=ブリアド)。子どもから大人まで誰もが知っているジブリ作品を集めたCD

アルバム「ジブリの思い出がいっぱい」シリーズを携え、ジブリの名曲をたっぷりお届けします。

わたしはココに注目する!

ブリアドの持ち味は、これまで多くの観客を魅了してきた心地よく心にしみわたるクリスタルヴォイス。ジブリファンはもちろんのこと、お歌が大好きなお子さんのコンサートデビューにもおススメ! ご家族で夏の思い出作りにお出かけください!

チケット情報 | 発売中
料金 | 全席指定 一般 4,000円 / any会員 3,000円 / 学生(25歳以下) 1,000円 ※3歳以上入場可

[曲目] 風の谷のナウシカより「風の谷のナウシカ」/となりのトトロより「となりのトトロ」他、メドレー / 魔法の宅急便より「やさしさに包まれたなら」他、メドレー / 千と千尋の神隠しより「いつも何度でも」/「いのちの名前」 ほか
[出演] ザブリーズアドベンチャーズ(歌)、ドリームチェンバーオーケストラ(演奏)

反田恭平 produce ジャパン・ナショナル・オーケストラ 2023夏ツアー

2023年9月1日(金) 19:00開演(18:00開場)
会場:大ホール



新進気鋭のオーケストラ来る!

2021年、シヨバン国際ピアノコンクールでその名を世界中に轟かせた反田恭平。輝かしい快挙は記憶に新しいですね。そんな反田が同世代の実力派音楽家を率いて結成した、ジャパン・ナショナル・オーケストラ(以下、JNO)による待望の山口公演を開催します。JNOは定期公演をはじめ、地域に愛され親しまれるオーケストラを目指して、拠点とする奈良県内の学校へのアウトリーチを積極的に行うなど、様々な形でアンサンブルの新しい魅力の開拓に挑む気鋭の楽団

です。「音楽そのものを全身で楽しんでいる」と評される反田。奇しくも、山口公演が行われる9月1日は誕生日だそう! 仲間とともに、どんな風に音楽の喜びを伝えてくれるのでしょうか。

わたしはココに注目する!

自らがプロデューサー、指揮者も務めるオーケストラとの競演では、ソロのピアニストとしての反田さんとはまた違った表情を見ることができそうです。

チケット情報 | 発売中(残りわずか)
料金 | 全席指定 A席 一般 6,000円 / any会員 5,500円 / 学生 3,000円 ※S席は完売しました。
[曲目] チャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲 イ長調(チェロ独奏/森田啓介)」
モーツァルト「交響曲第40番 ト短調K.550」/モーツァルト「ピアノ協奏曲第15番 変ロ長調K.450」
[出演] 反田恭平(指揮/ピアノ)、Japan National Orchestra(管弦楽)

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員4枚まで。
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。
■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

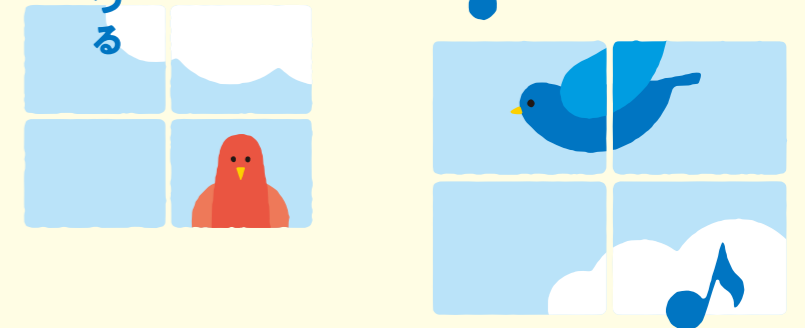


夏休み
お楽しみ
シアター

2023年7月30日(日)
① 11:00開演 ② 14:30開演 (各回15分前開場)
会場:山口情報芸術センター スタジオB(2F)
[おすすめの年齢] 3~6歳

若い観客のためのパフォーマンスを専門とする、舞台アーティスト、アンディ・マンリー。世界的なヒット作「ホワイト」や「ナイトライト」に続いて発表する新作公演のタイトルは「ベック」。鳥たちがぐくばしでつつくという意味で、2019年に日本を訪れたときに聞いたり見たりした音やモノからインスピレーションを得て創作しています。想像力豊かな遊びやオブジェがたくさん登場。「鳥のうたごえ」に誘われて、見て、聞いて、楽しむ、遊び心満載のノンバーバル作品があなたのもとに届きます。

スコットランドの
アーティスト、
アンディ・マンリーがつづる
温かくて優しい世界。



海外からこんにちは!

今年の夏は、海外から2つの楽しいパフォーマンス作品がやってきます。

[料金] 全席自由 ※1歳以上有料(1歳未満は膝上鑑賞可)
【1公演】おとな 2,000円(any会員 1,700円) / 子ども(高校生以下) 500円
【2公演セット券】おとな 3,600円(any会員 3,000円) / 子ども(高校生以下) 800円

チケット好評発売中!!



夏休み
お楽しみ
シアター

2023年8月2日(水) ① 18:00開演
3日(木) ② 11:00開演 ③ 14:00開演
会場:山口市民会館 小ホール (各回15分前開場)
[おすすめの年齢] 3歳以上

ある朝冒険に出た女の子・アナが出会うのは、愉快で楽しく、ちょっとドキドキの世界。大きな鳥に乗って砂漠を横断したり、シャボン玉に飛び込んだり、ジャングルを探検したり…。旅の途中ではバケツやロープが魔法のように助けてくれます。冒険を仕掛けるのは、チリの劇団テアトロ・デ・オカシオン。出演する3人が音楽と歌で彩られた色彩豊かな演劇の旅へと私たちを誘い出します。チリ国内はもちろん日本を含めた世界中で上演され、愛され続けている珠玉の作品が、ついに山口に!!



陽気なラテンの
リズムにのって、
アナといっしょに
旅をしよう!

7 July

8 August

9 September

※掲載内容は2023年6月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

<p>山口情報芸術センター [YCAM] https://www.ycam.jp/</p> <p>開催中 「浪のしたにも都のさぶらふぞ」展</p> <p>8 9 ハイバイ[再生]</p> <p>8 コロガルあそびのひゃっかてん 会場:山口井筒屋</p>	<p>5 台湾文化特集「台Y祭」 音楽ライブ「美麗島 Underground」 (本誌p.10参照)</p> <p>23 Yamaguchi Seasonal 2023 大友良英+青山泰知+伊藤隆之「without records」 会場:山口駅前サテライトA(本誌p.10参照)</p> <p>30 夏休みお楽しみシアター 「ベック」(本誌p.13参照)</p>	<p>11 Yamaguchi Seasonal 2023 坂本龍一+YCAM InterLab「Forest Symphony」 会場:常栄寺雪舟庭</p> <p>10 13 真夏の夜の星空上映会2023 (本誌p.8参照)</p>	<p>3 ~11 / 5</p> <p>15 18 YCAM爆音映画祭2023 (本誌p.10参照)</p> <p>22 24 Audio Base Camp #2 (本誌p.10参照)</p>
<p>山口市民会館 http://www.yamaguchi-civichall.com/</p> <p>2 日本センチュリー交響楽団 山口市特別演奏会「夏の第九」</p> <p>14 ジブリの思い出がいっぱい オーケストラによるドリームコンサート(本誌p.12参照)</p> <p>17 ミュージカル すてきな三にんぐみ</p>	<p>2 3 夏休みお楽しみシアター 「アナのはじめての冒険」 (本誌p.13参照)</p>	<p>1 反田恭平 produce ジャパン・ナショナル・オーケストラ (本誌p.12参照)</p> <p>2 松元ヒロ・ソロライブ2023</p>	<p>~11 / 5</p>
<p>中原中也記念館 https://www.chuyakan.jp/</p> <p>開催中 第20回テーマ展示 詩集「山羊の歌」</p> <p>開催中 企画展I 中原中也と関東大震災</p>	<p>23</p> <p>27 特別企画展 草野心平と中原中也 (本誌p.2~7参照)</p> <p>28 中原中也を読む会</p>	<p>19 特別企画展「草野心平と中原中也」関連 朗読&トーク「心中、詩スルモノアリ——いき・かえる・うた」 会場:クリエイティブ・スペース赤れんが(本誌p.11参照)</p> <p>25 中原中也を読む会</p>	<p>※7/24~10/3は特別企画展開催中のためお休み(展示復帰:10/4~2024/2/12)</p> <p>~10 / 1</p> <p>22 中原中也を読む会</p>

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (24時間受付)

<https://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

TEL. 083-920-6111

窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネットでチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口

※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6カ月)以上

[料金] 1人につき700円、
2人目以降は1人につき500円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分200円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで
(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

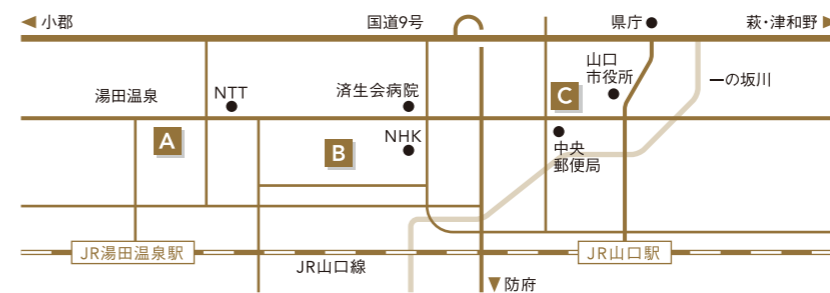
※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
https://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

今号の編集がピークを迎える6月初旬は蛍の明滅が美しく闇を灯す時期。いつもは夜の散歩としゃれこむところだが、あいにく今年は忙しくてまだ実行できず。そして不安をあおる例年よりも長い梅雨…。[M.D]ふと思いついて藍の特産地・徳島の高校から種をお取り寄せて藍を栽培中。自家製の藍で染めたストールでこの夏を爽やかに! [KA]瞬間に春は過ぎましたが、隙を見つけては映画やライブへ。会場いっぱいのお客さんと同じひとときを楽しんで、やっぱり最高!! [YI]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
https://www.chuyakan.jp/

B 山口情報芸術センター[YCAM]

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日
https://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.yamaguchi-civichall.com/

本誌掲載の企画について、今後の情勢により開催が変更または中止になる場合がございます。最新情報は各施設のwebサイト等にてご確認ください。



A. 少年/脈打って
(心平は「少年」の大きさや甘くなさに就いて、この国の詩人はあまりに関心を示していない)とも書いています。)

草野心平

草野心平
詩集母岩



草野心平詩集
第百階級西暦
千九百貳拾八
年銅鑼社刊行

公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

55
號外

界隈のいちばん獺猛な結蛇が殺された
田から田へ張外がつたわって
みんなの背中はうろこに感り上った

ぎやわろッ ぎやわろッ ぎやわろろろりッ
ぎやわろッ ぎやわろッ ぎやわろろろりッ

ぎやわろッ ぎやわろッ ぎやわろろろりッ
ぎやわろろろりッ

ぬか雨の苗代に
蛾加ふるへておる

ぎやわろッ ぎやわろッ ぎやわろろろりッ
ぎやわろろろりッ

ぎやわろッ ぎやわろッ ぎやわろろろりッ
ぎやわろろろりッ

ぎやわろッ ぎやわろッ ぎやわろろろりッ
ぎやわろろろりッ